

「三方よし」出前講座のご案内

CSR の源流 近江商人の「三方よし」に学ぶ

企業経営の原点を見直すという意味で、わが国近代商業の基礎を築き上げた「近江商人」とその基本理念である「三方よし」があらためて注目されています。

本来の企業経営とは何か、或いは、進取の気性やチャレンジ精神により出向いた土地の人々に受け入れられながら、成長していった「近江商人」たちの生き様やその基本理念である「三方よし」とは何かを学んでいただければとの思いで「三方よし」出前講座を開催します。

内 容 申請に応じて、三方よし研究所会員および当NPO登録講師の中から適任者を選出し、申請団体の指定する会場へ派遣します。

費 用 講座90分 講師料については、ご相談に応じます。(交通費及び宿泊費は別途支給願います) 詳細は事務局へお問い合わせください。

申込方法 開催日時、実施場所など開催の2ヶ月前までに下記メールからお申し込みください。
office@sanpo-yoshi.net
特定非営利活動法人三方よし研究所



特定非営利活動法人三方よし研究所

〒522-0004 滋賀県彦根市鳥居本町 655 番地 1
サンライズ出版内
TEL : 0749-22-0627 FAX : 0749-23-7720

三方よし研究所 SNS フォローお願いします



@320ixemw



@sanpoyoshi2002



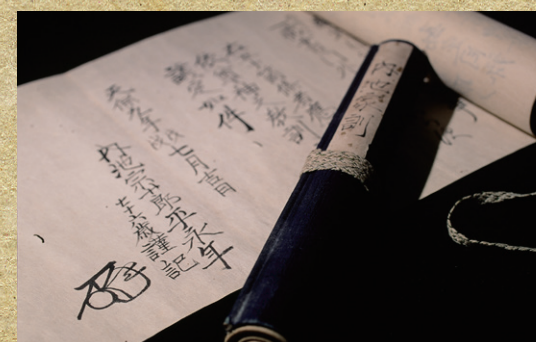
@sanpoyoshi2002



@sanpoyoshi

特定非営利活動法人三方よし研究所 創立20周年記念事業

近江商人の叡智に学ぼう



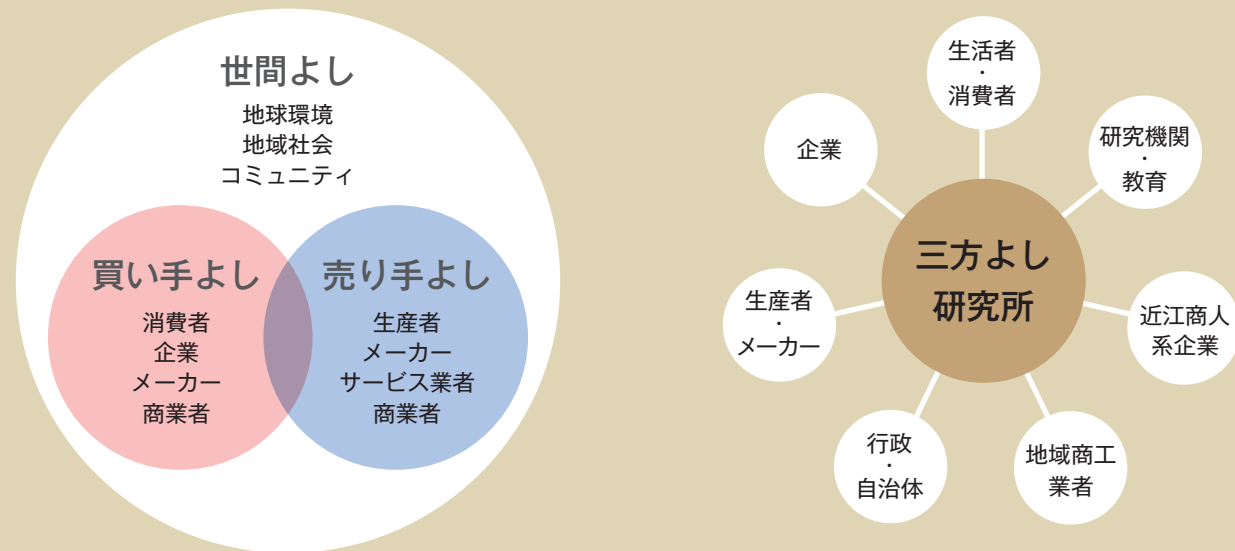
主催 特定非営利活動法人三方よし研究所

後援 滋賀県・近江八幡市・東近江市・日野町・豊郷町・全国滋賀県人会連合会・滋賀経済同友会・滋賀県中小企業家同友会

特定非営利活動法人「三方よし研究所」とは

三方よし研究所は、「売り手よし 買い手よし 世間よし」という近江商人の特性である「三方よし」の精神を、企業経営や広く社会活動の中で浸透していくことを目的とし設立しました。

「三方よし」の精神を現代的な観点から顕彰し、これからの企業経営や事業運営における社会貢献や倫理的行動を支援していこうとしています。



三方よし研究所の事業展開

経済最優先の社会経済システムからの転換を図り環境への配慮、地域社会への支援、ともに働く人々の満足が得られるために以下の事業展開を行います。

三方よし理念の啓発・普及活動

- 経営・教育セミナーおよび講演会の開催
- 近江商人のふるさと探訪ツアーの実施
- 理念普及のための研修会の開催
- 近江商人関連出前講座の開催

交流ネットワークの創造

- パートナー機関の開拓
- 交流ネットワークシステムの構築
- 近江ブランド創造支援
- 情報誌の発行
- 倫理・監査に関するシステム研究
- 海外機関との連携
- 国内、異業種組織との交流
- 近江商人顕彰事業

三 方 よ し

近江商人の共通の理念である「売り手よし 買い手よし 世間よし」という経営理念は、封建経済体制の中、他国で商いを行う上で重要な規律でした。

五個荘（現 東近江市）の中村治兵衛家に残る「他国へ行商するも、総て我がことのみと思わず、其の国一切の人を大切に、私利を貪ることなかれ…」という遺言状が三方よしの考えの原点といわれていますが、多くの近江商人の家訓に同様の戒めが残っています。

本宅を近江に置いて、京、大坂をはじめ江戸や関東一円、

さらには東北や九州で商売を行った近江商人は、入手困難な商品を供給したり、持ち込んだ原材料でその土地の産業振興を図るなど諸国産物回しと呼ばれる商いを展開しました。他国で商売をしていたことが、自己の利益を優先する以上に、相手を思い、地域を思う行動や規範が必要であったのでした。

「三方よし」という言葉は1980年頃に、滋賀大学経済学部教授だった故小倉榮一郎氏が使いはじめられたといわれています。

と き **2022年10月29日(土) 13時開始**
ところ **大津市 琵琶湖ホテル**
講 師 **田原 総一郎 氏**

■講師略歴

1934年滋賀県彦根市に生まれる。早稲田大学第一文学部卒業。岩波映画製作所、東京12チャンネル（現テレビ東京）を経てフリージャーナリストとして独立。『朝までテレビ』『サンデープロジェクト』（テレビ朝日系列）では、生放送中に出演者に激しく迫るスタイルを確立し、報道番組のスタイルを大きく変えた。活字方面での活動も旺盛で、共著も含めれば著作は100点を超える。現在もテレビ『激論！クロスファイヤー』（BS朝日）、『朝まで生テレビ』（テレビ朝日）、雑誌の連載を抱える。著書に『日本の戦争』（小学館）、『堀の上を走れ』（講談社）、『原子力戦争』（ちくま文庫）、『戦後日本政治の総括』（岩波書店）、『国賊か、英傑か 大老井伊直弼の生涯』（海竜社）『井伊家の教え』（プレジデント社）など多数。



ごあいさつ

本日は、三方よし研究所20周年事業へのご参加ありがとうございます。

1991年に滋賀県が提唱したAKINDO事業を引き継いだ三方よし研究所でしたが、いまでは近江商人の「売り手よし、買い手よし、世間よし」という三方よしの理念こそが持続可能な企業経営や社会活動を行う上で大切なことだと注目されるようになってきました。三方よし研究所の活動も少しは社会のお役に立っているのではないかと考えております。

本日は滋賀県ご出身の田原総一郎さんから、エールを送っていただけるかと期待しているところです。そして近江商人の系譜を持つ企業家の皆さんからの極意ともいえるお話も楽しみです。近江商人研究の第一人者の末永國紀先生がどのように引き出していただくか、大変興味のあるシンポジウムを企画しました。

これを機に、三方よし研究所はさらに、世間よしを実践しつつ、ともに「三方よし」を世界に広めていく意欲に燃えています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人三方よし研究所 理事長 塚本喜左衛門

近江商人の叡智に学ぶ これからの経営



権藤浩二 氏

小泉産業株式会社
代表取締役社長

こんどう・こうじ

1952年生。1976年中央大学商学部卒業、同年小泉産業株式会社入社、首都圏ハウジング営業部長、営業企画部長、グループ経営推進統括部長後取締役役に就任、専務取締役を経て2020年より現職。



山中隆太郎 氏

トヨタモビリティ滋賀株式会社
代表取締役

やまなか・りゅうたろう

1946年生。1969年学習院大学法学部卒業。広島酒造会社勤務後、滋賀トヨペット株式会社入社。2008年滋賀トヨペット株式会社(2022年1月トヨタモビリティ滋賀株式会社へ社名変更)社長就任、現在は同社代表。



塚本喜左衛門 氏

ツカキグループ
代表取締役社長

つかもと・きざえもん

1948年生。1971年大阪市立大学経済学部卒業。ニチイ(現マイカル)勤務後、1973年塚喜商事株式会社入社。1975年ツカキ株式会社を設立し、社長就任。1984年塚喜商事株式会社代表取締役社長就任(6代目喜左衛門襲名)。



末永國紀 氏

同志社大学名誉教授
近江商人郷土館館長
三方よし研究所顧問

すえなが・くにとし

1943年生。同志社大学経済学部卒業。同大学院経済学研究科博士課程修了。経済学博士。著書「近代近江商人経営史論」有斐閣1977、『近江商人入門－CSRの源流三方よし－』サンライズ出版2017ほか多数。

本シンポジウムでは、それぞれ近江商人の系譜に連なる企業の経営者の方のご参加いただき、創業以来の企業精神基盤、企業理念などをお話いただく中から、これからの企業経営の在り方をお話いただきたいと企画しました。



小泉産業㈱の本社ビル



学習機の組み立て



テレビで宣伝した学習機



東近江市での新入社員研修



東近江市五個荘山本の小泉重助邸(登録文化財)



学習機の寄贈

小泉産業株式会社

〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町 3-3-7

創業 1716年(享保元年)

設立 1943年6月25日

資本金 1,575百万円

売上高 376.4億円(2021年度・連結)



明治時代の大阪店

1716年、享保元年に小泉太兵衛が麻布の持ちくだり商いを始めたことがコイズミの創業です。小泉家は東近江市五個荘山本の出身ですが、1738年に、麻布問屋を開業し、その後京都に出店しています。

明治になって大阪船場に立木屋森之助商店を開設しました。この年1871年を近代創業元年としています。その後、電気、ガス、石油器具などの製造卸業を開始すると一層業容を広げ、照明や家具の市場に参入しています。

1996年には海外にも拠点を設け、2016年にはグルー

プ創業300周年を迎えています。

業界で初めてテレビコマーシャルをした学習機は、すっかりおなじみの商品ですが、東日本大震災をきっかけに、小泉成器との協働により、学習機とともに家具調コタツを毎年、全国の児童養護施設に社員が出向いてお届けし、その場で組み立てています。

社是である「人格の育成向上」は、商売を通じて自らの人格を高めることを最も大切なことと考え、社員教育にも力を入れており、新入社員研修では本家のある五個荘も見学コースに入れています。

トヨタモビリティ滋賀株式会社

〒520-0846 滋賀県大津市富士見台 1-1

創 業 1831 年 (天保 2 年)

設 立 1957 年 2 月 (滋賀トヨペット株式会社)

資本金 30 百万円

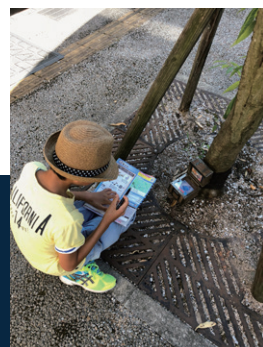
売 上 19,156 百万円 (2022 年 3 月期)



ウエルコム栗東



近江日野商人ふるさと館として活用されている旧山中正吉邸



にじいろレイク探検隊



にじいろレイク探検隊ポスター



富士宮 富士高砂酒造



Boss 百町物語



ここ滋賀 SHIGA

山中正吉家は、日野商人で初代正吉は1831年から富士宮で醸造業を営んでいました。5代目山中正吉も醸造業を営む一方、父より継承しながらも戦時統制でやむなく近江鉄道に譲渡した綿向自動車への残念により、なお自動車に携わっていたいと1957年に自動車販売業：滋賀トヨペット株式会社を設立しました。「他人によって生かされるという商いの人性」と「誠実・勤勉・厳儉約」という近江商人が堅持してきた生き様は、安全かつ快適なカーライフの提供を通じて湖国の発展に寄与したいと考える現在の自販業に引き継がれています。(初代正吉創業の醸造業は、新しい経営の手により、

今も富士高砂酒造(株)として存続しています。)

2017年には地域の皆様とのコミュニケーションの場として大津ナカマチ商店街に「Boss 百町物語」を開設して様々なイベントを開催、隣接する「野洲のおっさん おにぎり食堂」や滋賀の物産を紹介する「ここ滋賀 SHIGA」の運営を行う一方、県内一円を使った宝探しイベント「にじいろレイク探検隊」は親子の絆を深めながら郷土を学ぶことができると好評を得ています。

本年1月には社名をトヨタモビリティ滋賀に変更しましたが、近江日野商人が大切にきた「陰徳善事」という考え方は連綿と今に引き継がれています。



重森三玲庭園美術館



5代目が使っていた鉛筆



3代目が創業した頃の店舗



ツカキ本社

ツカキグループ

〒600-8412 京都市下京区烏丸通仏光寺上ル二帖半敷町 661
(ツカキスクエア)

創 立 1867 年 (慶応 3 年)

設 立 1949 年 8 月

資本金 1 億 5000 万円 (自己資本 200 億円)

売 上 69 億円 (2021 年 7 月期グループ全社計)



西陣織あさぎ美術館



訪日外国人企業家への三方よし講座



ツカキ本宅

塚本喜左衛門の初代、2代目は五個荘で農業のかたわら麻織物の仲買をしていましたが、1867年(慶応3年)、3代目塚本喜左衛門が呉服問屋を創業。1895年(明治28年)には本店を現在地に定め、1914年に鷹乃羽染(黒紋付)が宮内庁ご用達の栄を賜っています。5代目は第2次世界大戦では中国へ出征しましたが、何とか生還することができ、その後は朝3時に起床し仕事を始め、その時のチビた鉛筆が“親父の家訓”として大事にされています。

6代目の現社長は、入社後1975年に宝石・毛皮を扱うツカキ株式会社を設立し、呉服問屋からの拡大を

目指し、その後不動産の賃貸事業も行うようになります。一方、伝統工芸技術や文化財の保存にも積極的で、作庭家・重森三玲旧宅の招喜庵の改修や「西陣織美術工芸あさぎ」を自社の製造部門として発足させ、2019年にはその作品を展示する「西陣織あさぎ美術館」を開設しました。

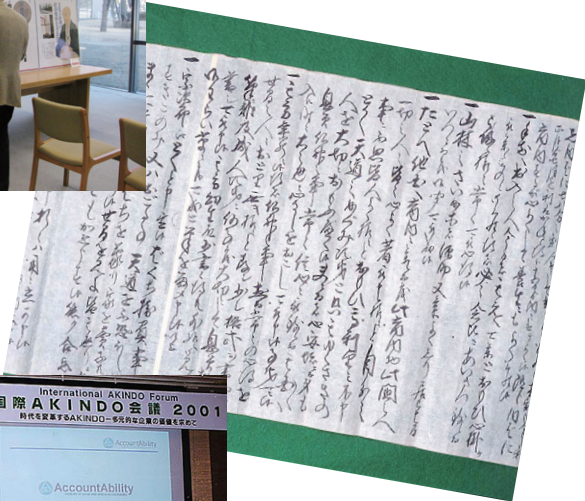
2013年からはNPO法人三方よし研究所の理事長として、訪日外国人企業家をはじめ、各地での「三方よし出前講座」に出向き、「三方よし理念」普及に努めています。

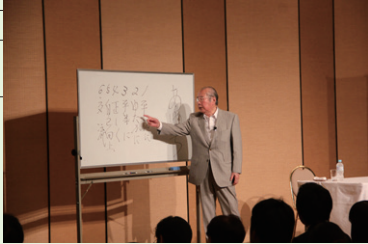
「三方よし」をめぐる近江商人関連年表

西暦	元号	滋賀県・NPO法人三方よし研究所	近江商人関連できごと
1890	明治23年		
1911	明治44年		
1930	昭和 5年		
1941	昭和16年		
1959	昭和34年		
1962	昭和37年		
1965	昭和40年		
1966	昭和41年		西川産業創立 400 年
1970	昭和45年		
1972	昭和47年		びわこ放送で近江商人取り上げられ、「てんびんの詩」の構想が生まれる
1977	昭和52年		
1979	昭和54年		小林吟右衛門家「近江商人郷土館」として公開
1980	昭和55年		
1984	昭和59年		竹本幸之祐「てんびんの詩」発表 研修教材として人気を集める
1985	昭和60年		群馬の岡直三郎商店、創業 250 年
1986	昭和61年	稲葉稔滋賀県知事と作家の邦光史郎氏との対談において「近江商人大集合」の企画が提案された	
1987	昭和62年	近江商人にかかる基礎データの収集開始	
1988	昭和63年	「あきんどフォーラム」開催基本構想策定委員会を設置	『てんびんの詩』映画化 『近江商人の経営』近江商人関連本としては異例の15000 冊販売。「三方よし」が初見か。 近江八幡西川利右衛門家が一般公開
1989	平成 元年	あきんどフォーラム実行委員会の設置 「あきんどフォーラム」ブレイバント開催（福岡、盛岡、大阪）	
1990	平成 2年	「あきんどフォーラム」ブレイバント開催（名古屋、京都、札幌、広島、東京） 県内ブレイバント「新近江商人考」開催（県内 7 地区）	
1991	平成 3年	オリジナルミュージカル「ボタージュ・ナイト」東京および県下で公演 国際 AKINDO フォーラム、世界都市経営会議、商人と湖国文化展を開催、懸賞論文募集	国際 AKINDO フォーラムで「三方よし」流布 フォーラム記念品として『近江商人の理念－近江商人家訓撰集』（小倉榮一郎著）発行。冒頭に「三方よし」と記される
1992	平成 4年	AKINDO 委員会（理事長滋賀県知事）、AKINDO 会議（県内若手経済人）を設立 AKINDO 事業長期構想委員会を設置 AKINDO 講演会、ビジネス・セミナーの開催（～7 年継続） 近江商人ビデオを制作 パネル巡回展の実施	
1993	平成 5年	AKINDO 講演会、ビジネスセミナー（新近江商人塾、AKINDO セミナー）の開催 AKINDO 会議が盛岡市経済人との交流事業 近江商人ふるさと探訪ウォーク開催 近江商人カレンダー（家訓撰集）の作成	モラルロジー研究所が研究テキストとして「三方よしの経営」を発行。成熟社会の企業マネジメントとして理念の柱とする
1994	平成 6年	中学校学習教材ビデオを制作配布 AKINDO 会議が北海道江差町との交流事業 女性起業家等との交流会「湖国パワーアップ研究会」開催 AKINDO セミナー OB 会「葦の会」異業種交流事業開催	近江商人屋敷の修復公開（旧五個荘町） 記念に外村繁「筏シリーズ」復刊
1995	平成 7年	情報誌「三方よし」発行、解散後は三方よし研究所が事業継承 近江商人ふるさとマップの作成配布	
1996	平成 8年	女性起業家セミナーの開催 平成 11 年度まで継続 近江商人研究ネットワークの設立（座長末永國紀氏）	旧五個荘町「てんびんの里学習センター」内に「近江商人博物館」を開設 チョーギン、創業 200 年
1997	平成 9年	近江商人関連施設スタンプラリー実施、平成 11 年まで継続開催	中村治兵衛書置が見つかる 滋賀県「近江商人の商法と理念」発行
1998	平成10年	近江商人出前講座の開始、現在三方よし研究所が事業継承	
1999	平成11年		白木屋閉店 336 年の歴史の幕 秩父矢尾酒造、創業 250 年
2000	平成12年	全国 AKINDO フォーラム 2000 開催「変革の時代に AKINDO の知恵を生かす」	外与株式会社創立 300 年

出版物など・書名
『近江商人』 井上政共著
『近江商人』 平瀬光慶著 (近江商工会刊)
『近江商人事蹟写真帖』 滋賀県経済協会編
『近江商人の研究』 菅野和太郎著 (有斐閣)
『近江商人』 江頭恒治 (弘文堂)
『江州中井家帖合の法』 小倉榮一郎 (ミネルヴァ書房)
『江州人』 毎日新聞大津支局 (毎日新聞社)
『江州商人』 江頭恒治 (至文堂)
『江州商人中井家の研究』 江頭恒治 (雄山閣)
『小野組の研究』 宮本又次 (大原新生社)
『近江商人の研究』 復刊 菅野和太郎
小説『近江商人』 邦光史郎 (有斐閣)
『近代近江商人経営史論』 末永國紀 (有斐閣)
『近江商人の系譜』 小倉榮一郎 (日本経済新聞社)
『近江商人』 渡辺守順 (教育社)
『変革期の商人資本－近江商人丁吟の研究』 近江商人郷土館丁吟史研究会
『近江商人の経営』 小倉榮一郎 (サンブライト)

『近江商人の開発力』 小倉榮一郎 (中央経済社)
『近江商人』 朝日新聞大津支局編 (かもがわ出版)
『近江商人の系譜』 小倉榮一郎 (社会思想社)
『近江商人の金言名句』 小倉榮一郎 (中央経済社)
『草筏』『花筏』『筏』 復刊 外村繁 (サンライズ)
小説『近江商人魂』 童門冬二 (人物文庫)
小説『近江商人魂』 童門冬二 (人物文庫)
『近江商人のふるさとを歩く』 滋賀県 AKINDO 委員会 (サンライズ)
『近江商人の経営史』 上村雅洋 (清文堂)
『近江商人 現代を生き抜くビジネスの指針』 末永國紀 (中公新書)



西暦	元号	滋賀県・NPO法人三方よし研究所	近江商人関連できごと
2001	平成13年	国際AKINDO会議 2001 開催 「時代を変革するAKINDO多次元的な企業価値を求めて」 基調講演：中村邦夫・リチャード・エバンス ビューティフル・ビジネスプラン・コンペディション 2001 会津・岩手研修ツアー実施 滋賀県AKINDO委員会解散の方向へ検討委員会設置	国際AKINDO会議でリチャードエバンス（社会倫理説明責任研究所所長）が「社会説明責任と三方よし」を話題に 国松知事著書で「四方よし」発言に対し、訂正を求める 滋賀県中小企業家同友会、企業理念普及へ
2002	平成14年	AKINDO講演会 「転換期における企業経営」 講師 丹羽宇一郎氏 ビューティフル・ビジネスプラン・コンペディション 2002 開催。 高校・大学生を対象に近江商人の経営理念を生かしたビジネスプランコンペ AKINDO委員会解散、滋賀県産業支援プラザと三方よし研究所が事業継承 NPO法人三方よし研究所設立、出家舗美嗣が理事長就任 三方よし経営理念講座始まる	滋賀経済同友会が「滋賀CSRモデル」を発表 第1回の渋沢栄一賞を近江八幡市「日吉」代表取締役鈴木稔彦氏が受賞
2003	平成15年	情報誌の掲載記事をまとめ、AKINDO 事業を統括した『現代に生きる三方よし』発行	企業の社会的責任（CSR）の波及により近江商人の経営理念への評価が高まる
2004	平成16年	情報誌「三方よし」25号より三方よし研究所が発行	「三方よし」から始まる健康づくりシンポジウム開催 この頃から「三方よし」の使用が氾濫状態に
2005	平成17年	「なるほど三方よし講座」はじまる	食品表示偽装など企業の倫理観欠落の問題が多発、企業の社会的倫理観が浮上
2006	平成18年		嘉田知事「子育て三方よし」事業発表
2007	平成19年		第5回渋沢栄一賞を山本徳次氏が受賞
2008	平成20年	山形への研修ツアー実施 三方よし研究所会員（滋賀県立大学准教授）高橋卓也氏が「企業の責任国際学会」で三方よしをテーマに講演	伊藤忠商事、創業150年 リーマンショック世界金融危機はじまる
2009	平成21年	滋賀県予算から近江商人顕彰事業費ゼロに 本郷昭一が理事長に選任	
2010	平成22年		
2011	平成23年		事業承継問題浮上、長寿企業が注目 ツカモトコーポレーション創業200年
2012	平成24年	創立10周年記念式典（童門冬二講演など） 「近江商人の商法と理念」リニューアル発行	
2013	平成25年	塚本喜左衛門が理事長に選任 東北の近江商人連載始まる（読売新聞社） 八幡商業高校への支援始まる	経営倫理学会、CSR から CSV へ
2014	平成26年	訪日実業人への出前講座始まる 三方よし FACEBOOK 開始	
2015	平成27年	台湾商人との交流 ベトナムに近江商人の足跡を求めるツアー実施 近江商人の謎に迫る連続講座開催	日野町の旧山中正吉邸が「近江日野商人ふるさと館」として開館
2016	平成28年	「てんびんの詩」ビデオ鑑賞会	西川産業創立450年、小泉産業創立300年
2017	平成29年	韓国、中国実業家の研修さかん 大阪滋賀県人会との交流始まる 中国企業との交流 「なるほど三方よし講座」の名称を「三方よし講座」に変更	日本の長寿企業の秘訣に注目、インバンド需要 桐生の㈱矢野が創業300年、ツカキグループが創業150年
2018	平成30年	伊藤忠との交流始まる	静岡の山中兵右衛門商店が創業300年
2019	平成31年（令和元年）	情報誌三方よしカラー印刷へ 北前船主の館見学 	伊藤忠商事青山アートスクエアで「すごろく旅 伊藤忠兵衛・三方よしの軌跡」展を開催 
2020	令和2年	新型コロナ感染で行事相次ぎ中止 小樽・江差方面研修旅行	伊藤忠の社是が「三方よし」に 五個荘の中村治郎兵衛創業の「中合」福島店閉店 日経ビジネス電子版で「江戸のSDGs」シリーズで近江商人がクローズアップ
2021	令和3年	小学生用「お話し近江商人」完成	西川史料館近江八幡市に開館
2022	令和4年	創立20周年記念事業開催 全国SDGsポスターセッションに参加「SDGsと三方よし」	外村宇兵衛家が宿泊施設としてオープン

出版物など・書名
『近江商人に学ぶ』初出「平和堂社内報「はと」」（サンライズ）
『近江商人学入門－CSRの源流三方よし－』末永國紀（サンライズ） 『近江の商人屋敷と旧街道』三方よし研究所（サンライズ）
『近江商人の金融活動と滋賀金融小史』測上清二（サンライズ）
『近江商人ものしり帖』三方よし研究所（サンライズ）
『Q & A でわかる近江商人』三方よし研究所（サンライズ）
『近江商人 三方よし経営に学ぶ』末永國紀（ミネルヴァ）
『近江商人のビジネス哲学』童門冬二（サンライズ） 『伊藤忠兵衛を追慕する』宇佐美英機（清文堂）
『近江商人ってな～に』近江商人博物館（サンライズ） 『近江商人と三方よし 現代ビジネスに生きる知恵』末永國紀（モラロジー研究所）
『THE STORY OF JAPAN'S OHMIMERCHANTS』末永國紀（一財出版文化産業振興財団）
『てんびんの詩』原作：竹本幸之祐、漫画：大野志信（PHP 研究所）
『近江商人の理念 家訓撰集』増補判発行小倉栄一郎（サンライズ） 『近江商人の生活態度－家訓・倫理・信仰』窪田和美（法蔵館）
『近江商人と出世払い』宇佐美英機（吉川弘文館）



三方よし研究所設立



なるほど講座 木之本の酒蔵を訪ねる



公開講座 秩父矢尾氏交えて



近江商人の謎に迫る講座



訪日中国企業家との研修



公開講座



大阪滋賀県人会のみなさんと



お話し近江商人出前講座